

### (3) 大崎圏域会議

【日時】令和6年11月1日(金) 10時から正午まで

【場所】大崎合同庁舎1階 大会議室

#### 【委員からの主な意見】

##### (1) 第6期みやぎ観光戦略プランの中間案

- 宮城県でインバウンド獲得がうまくいっていない理由の分析が重要である。
- 各圏域の持つポテンシャルとしてキラーコンテンツが融合しながらオールラウンドの観光地を実現するとか、四季を通した時間軸での戦略をどうしていくかとかをプランに入れ込む方が良い。
- 県内の留学生と協力しモニターツアーを企画するとか、欧米からの観光客だけではなく、雪を見たことのない沖縄の方を呼び込む企画を考えるととかの方策を入れると良い。
- 国外客などにも情報を得る目的で道の駅を利用する方がいる。配架されたチラシやポスターには県外地域のもが多く、あえて県内のものを置くことも必要。
- 東南アジアの観光客が除雪作業を物珍しそうにしたりするなど、日常の部分も観光コンテンツになり、ちょっとしたことでも商品化につながる。
- オールラウンドという方針でも良いがバラマキになりかねないし、キラーコンテンツなどの絞った観光という視点が必要。
- 宿泊観光客数の回復率が石巻圏域だけ高いことから学べる点などはあるか。

##### (2) 圏域の施策の方向性及び取組

###### ① 圏域の観光の現状課題・施策の方向性及び取組

- 鳴子にきているインバウンド客の多くは台湾や中国からの観光客のようであり、欧米系のインバウンドへの対策も考える必要がある。
- 国道や陸羽東線を街道に見立てたJRやバス、自転車の周遊コースをプランに取り入れるという考えもある。
- 大崎圏域のポテンシャルが発揮されていないのは同意できるし、関係者が連携して商品づくりを進めていく必要がある。
- 温泉あつての鳴子温泉郷であり、源泉の管理が課題となっていることから、その管理経費に対するメニューを設けてもらいたい。
- 大崎圏域の食は一つのキラーコンテンツになり得るし、ガイドのスキルが向上すれば観光客の満足度が上がったり滞在時間が長くなったりすることにつながれると思う。
- 涌谷町は松島から平泉への観光の中継地点で、日本初の産金地だったり、篁岳山頂からは石巻湾まで見えたりという観光ツールがあるので、圏域の観光に協力していきたい。

## ②圏域別数値目標の設定の方向性

- 国民保養地である鳴子温泉郷を抱えている圏域でもあり、客室数減少分を連泊の推進によって補完できるよう我々観光団体も頑張るので、目標値は、もっと強気で設定しても良いと考える。
- 大崎市では宿泊観光客数100万人を目標として掲げているので、各市町の目標との整合性も検討いただきたい。

## (3) みやぎ観光振興会議設置要綱の一部改正

- 宿泊税導入に関する県との意見交換の回数や期間が少なかったという印象がある。
- 部会の人選については、各地域によって客層や宿泊体系が異なることから、県で一本釣りするのではなく、宿泊事業者等の声を聞いて進めていただきたい。
- 宿泊事業者部会とは、宿泊事業者の声を取り上げ、政策に関することを決めていく場なのか。